

第10回合宿形式ワークショップ in 東京「自死遺族支援の拡充のために」

自死遺族を支える活動は、各種相談窓口や遺族のつどい開催など着実に広がりつつあり、さらにこの流れを広げていきたいと願っております。遺された方たちがそれぞれの悲しみに向き合い、安心してありのままの気持ちを語り合い、適切な支援につながる機会を広げるためには、関わるスタッフの層が厚くなること、そして資質の向上が必須であることから、このワークショップを企画しました。多くの皆さまのご参加をお待ちいたします。

日 時：2017年6月17日（土）～18日（日）

場 所：主婦会館プラザエフ会議室（東京都千代田区六番町15 JR四ツ谷駅麴町口徒歩1分）

<http://plaza-f.or.jp/index2/>

対 象：各地の自死遺族支援活動に関わっている方、これから関わろうと考えている方
（民間・行政を問わず会員以外も参加可能）

定 員：40名（定員になり次第締切ります）

参加費：無料（夕食のみ実費）

交通費補助：当センター正会員（団体及び個人）に10,000円支給（ただし往復10,000円以上の場合）

プログラム：第1日

13:30 受付開始

14:00～14:30 開会「遺族・遺児等支援のこれから～自殺総合対策大綱見直しを踏まえて」
杉本 脩子（NPO法人全国自死遺族総合支援センター理事長）

14:30～15:45 講演「遺族のつどいの運営～グループの力の活用」
講師 田辺 等先生

（北星学園大学社会福祉学部教授 前北海道精神保健福祉センター長）

16:00～17:45 演習「グループの運営について学ぶ」指導 田辺 等先生
（1）場面学習～どういう場面で困るか、どう関わるか
（2）質疑とディスカッション

18:00～19:00 夕食

19:00～21:00 フォーラム「各地からの報告と課題提起」&交流会
～ゆるやかなネットワーク構築のために

プログラム：第2日

9:00～9:50 定時総会

10:00～12:30 講演「こころの力を引き出すために～認知行動療法の活用」
講師 大野 裕先生（認知行動療法研修開発センター理事長）

「悲しみと共に生きる～認知行動療法のワークとわかち合い」の実際

プログラムの紹介／参加者からの感想／大野先生の助言・コメント

12:30 閉会

主催：NPO法人全国自死遺族総合支援センター

後援：東京都（予定）

申込：メールまたはファックスにてお申込みください。

第10回合宿形式ワークショップ in 東京 参加申込書

宛先：NPO 法人全国自死遺族総合支援センター事務局

office@izoku-center.or.jp ファックス 03-3261-4930

<input type="checkbox"/> 2日とも <input type="checkbox"/> 1日目のみ（夕食なし） <input type="checkbox"/> 1日目のみ（夕食あり） <input type="checkbox"/> 2日目のみ	
お名前	フリガナ
所属	
ご住所	〒
連絡先	何かの時にこちらからもっとも連絡しやすいもの（携帯・メールなど）